



市南部地域連絡会活動報告

市南部地域連絡会 会長

上海日粉食品有限公司 董事・総経理

中島 礼二



新年会(1月8日)

市南部地域連絡会では、上海市の南部に位置する松江区、奉賢区、金山区をエリアとしており、上海市の面積の約30%をカバーしています。所属会員企業数は170社あり、市の中心部の地域連絡会の会員数と比較すると少ないのですが、市北部、市西部の地域連絡会よりも多くなっております。

年が明けて間もない1月8日に市内レストランで当連絡会では新年会を開催しました。ゲストに日中経済協会上海事務所の伊藤所長、JETRO上海事務所の高橋部長をお招きし、16名の参加と小規模なものでしたが、今年の活動を活発に展開していくにあたり、意義あるス

タートとなりました。

そもそも市南部地域の会員企業は、工場系の企業が多いのですが、近年の中国の環境規制の厳重化や人手不足による従業員確保の困難は、会員企業の事業活動に大きな影響を及ぼしております。昨年12月に開催した総会では、①上海市の環境規制の動向、②個人所得税法の改正というホットな話題を講演テーマとしたところ、会員企業の皆様の関心も高く、その後の交流会で次は新年会を開催しようと盛り上がり、今回の開催になりました。

昨年の上海市のGDPは約3.2兆人民元、そのうち第二次産業が占める割合は約30%であり、第一

次産業は0.3%程度しかなく、ほぼ7割は第三次産業が占めています。急速に産業構造が変化してきた中で、市の周辺区ではこの数年は都市化の波が大きく押し寄せ、例えば松江区の場合、いくつもの大学のキャンパスを集めて大学新城とし、その近くにはロンドンの住宅の街並みを意識したテムズ・タウンという新興住宅地も開発されました。また、最近では採石場の巨大な穴の跡地に地下16階まであるホテルが建設されて日本でも話題となり、さらに広富林遺跡の公園が整備され、上海市内とは違う趣を感じられます。

このように多様性のあるエリアを管轄する市南部地域連絡会では、会員の皆様のニーズを掴んだ活動を目指すとともに、他の地域連絡会の皆様との交流により、市南部を知ってもらおう活動にも注力していきたいと考えています。



松江区テムズ・タウンの街並み